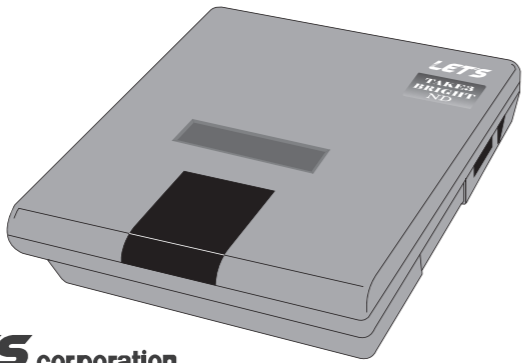


# TELBOSE® TAKE3 BRIGHT ND

## 取扱説明書



LET'S corporation

### 1. はじめに

この度は、TELBOSE TAKE3 BRIGHT ND（以降、本装置と記述）をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本装置は、1本の電話回線に電話機、FAX、モデム等を接続し、自動切替ができる装置です。本書と別紙の「ご使用上の注意」を良くお読みいただき、本装置の機能が十分発揮できますように正しくお取り扱い、運用いただきますようお願い申し上げます。本書と別紙の「ご使用上の注意」は付属品と共に大切に保管して下さい。

#### 注意事項

- 本装置および付属品の使用により生じた金銭上の損害逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。
- 本装置および付属品は、改良の為予告なしに変更することがあります。
- 本装置の故障、誤動作、不具合あるいは停電等の外的要因によって、通信、通話、録音等の機会を逸したため生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。
- 本書の内容については、改良のため将来予告なしに変更することがあります。

#### 回線接続の前に

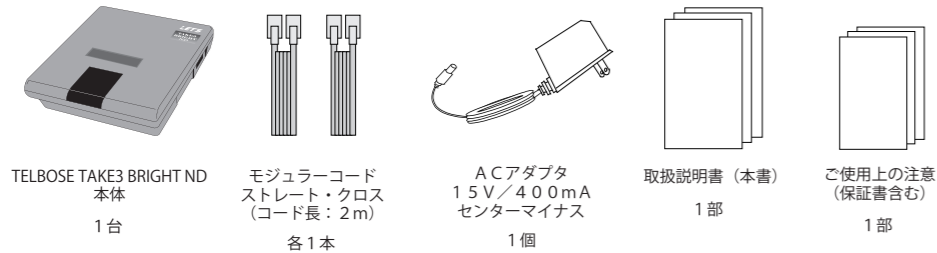
- 本装置は、財団法人電気通信端末機器審査協会の認定品です。
- 2線式の電話回線に使用することができます。4線式などの電話回線には接続できません。
- PBX、ボタン電話の内線に接続する場合、電気的仕様がNTTと同じかどうかを確認して下さい。仕様がNTTと異なりますと機能が正常に働かないことがあります。
- 仮着信方式を使用しておりますので、自動ベルモードでお使いの場合、先方は呼出中も課金されます。
- キャッチホンは接続できません。
- ピンク電話（硬貨収納信号送出サービス加入）回線に本装置の接続はできません。（販売店にお問い合わせ下さい）
- ナンバーディスプレイサービス回線にも接続できますが、ナンバーディスプレイ対応電話機が必要になります。また、接続されるナンバーディスプレイ対応電話機によっては、本装置・電話機などが正常に動作しない場合があります。なお、仕様上FAX受信の際も、電話機が数回鳴動することがあります。
- 接続される電話回線またはターミナルアダプタ（TA）によっては、正常に動作しない場合があります。
- 留守番電話機は接続できますが、機種によっては正常に動作しない場合があります。
- Fネット1300Hz無鳴動サービスには使用できません。

#### 本装置を利用した転送の注意

- NTTアナログ回線のボイスワープサービスに加入する必要があります。ただし、INS64、ひかり電話のボイスワープサービスには対応していません。
- 転送先は、1カ所の登録となります。複数箇所は対応していません。
- ご利用可能回線種別はプッシュ回線のみとなり、ダイヤル回線でのご利用はできません。

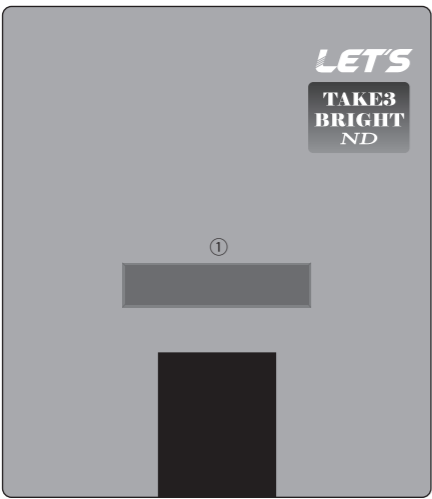
### 2. 商品構成

ご使用いただく前に、次の物が揃っているかを確認して下さい。万一、足りない場合は、お手数ですがお買い上げの販売店または弊社までご連絡下さい。

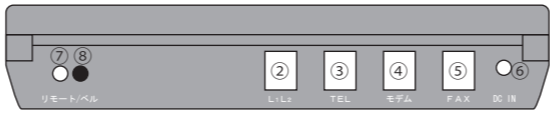


### 3. 各部名称

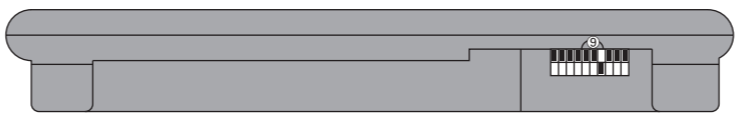
#### ■上面図



#### ■背面図



#### ■側面図(右)



#### ■名称

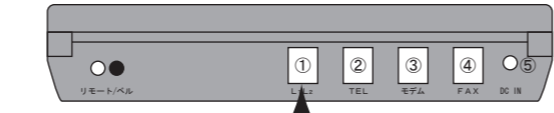
	名 称	は たら き
①	表示パネル	着信番号や発信番号等を表示します。
②	回線接続用モジュラー端子	回線と本装置を接続するコネクタです。
③	電話機接続用モジュラー端子	電話機、留守番電話機を接続するコネクタです。
④	モデム接続用モジュラー端子	モデムを接続するコネクタです。
⑤	FAX接続用モジュラー端子	FAXを接続するコネクタです。
⑥	電源アダプタ接続用ジャック	付属のACアダプタを接続するジャックです。
⑦	リモートモードランプ	リモートモード設定時に緑点灯します。
⑧	自動ベルモードランプ	ボイスワープ作動中に緑点滅します。
⑨	自動ベルモードランプ	自動ベルモード設定時に赤点灯します。
⑩	10連ディップスイッチ	各種設定を行うスイッチです。

⚠ 注意 10連ディップスイッチのカバーを開けるときは、⊖ドライバーなどを使用して下さい。怪我の原因となることがあります。

### 4. 接続方法

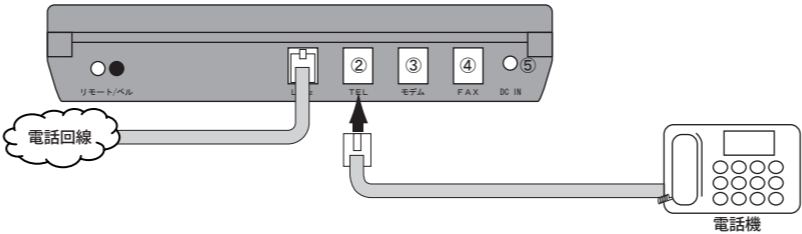
#### 1. 回線との接続

電話回線（交換機・PBXなど）からのコードを①[L<sub>1</sub>L<sub>2</sub>]に接続します。



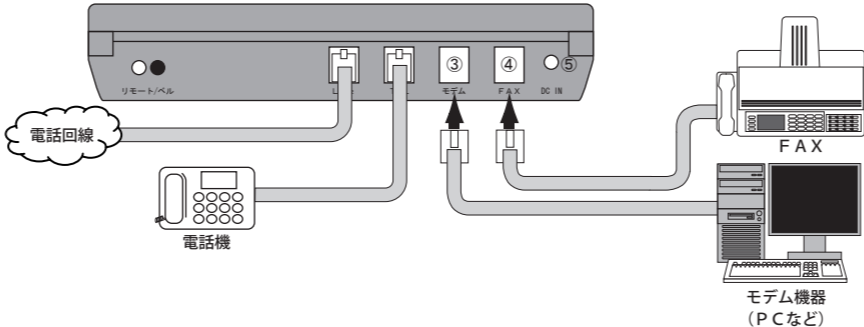
#### 2. 電話機、留守番電話機、ナンバーディスプレイ対応電話機などとの接続

付属のモジュラーコードなどで、②[TEL]に接続します。ナンバーディスプレイ対応電話機を接続する際は、後述の注意事項を参照して下さい。



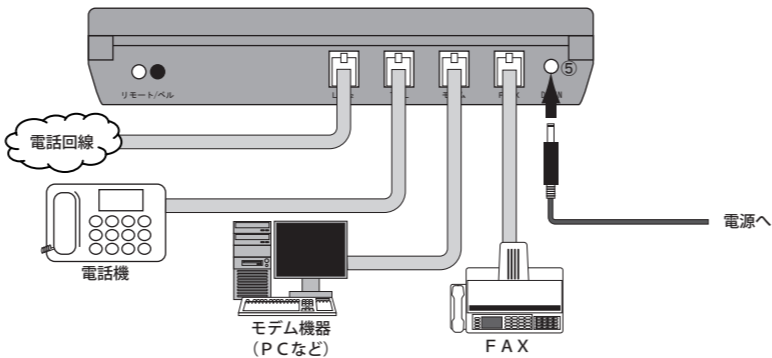
#### 3. FAX、モデムなどとの接続

付属のモジュラーコードなどで、④[FAX]、③[モデム]などに接続します。



#### 4. ACアダプタとの接続

付属のACアダプタを使用し、⑤に差し込んで下さい。電源はAC100V、50/60Hz（一般家庭用電源）以外では使用しないで下さい。



### ナンバーディスプレイ対応電話機を接続する際の注意事項

#### 注意

- ① 本装置のディップスイッチの設定で、  
[ナンバーディスプレイAモード] (ディップスイッチ1：下 2：下) または、  
[ナンバーディスプレイBモード] (ディップスイッチ1：上 2：下)  
に設定を変更して、ナンバーディスプレイを有効にしてください。
- ② リモートモード/自動ベルモードのどちらでも使用できますが、接続される電話機によっては正常に動作しない場合があります。  
※ ②について、電話回線の極性を入れ替えて、本装置の電源をOFF->ONすると正常に動作する場合もあります。

#### 動作

- ① FAX着信時、ナンバーディスプレイ対応電話機が2〜3回鳴動しますが、故障ではありません。
- ② ①以降の動作は通常のリモートモード/自動ベルモードと同じです。
- ③ 本機能を使用時には、自動モード切替を無し (ディップスイッチ8を無し (上)) で使用して下さい。  
発信・着信ができなくなる場合があります。

### その他

#### 表示パネル

本体上面に設置されている表示パネルは、ナンバーディスプレイAモードまたはナンバーディスプレイBモードでご使用いただいた場合に、着信時に発信者番号が表示されます。また、TEL、FAX、モデムに接続された電話機などからの発信におきましても、発信の際のダイヤル番号が表示されます。

#### 瞬断検知スイッチ

本装置の着信時、発信側の切断を検知する場合には通常ビジートーンを検知しますが、CPC信号（瞬断信号）も合わせて検知する場合にはディップスイッチ9を「上」(有り)にします。  
※ノイズ等が多い場合には使用しないでください。ノイズをCPC信号と認識し、切断する場合があります。

### 接続での注意事項

#### 1. 本装置に関する注意事項

- ・本装置は極性に指定はありませんが、接続する電話機/FAX/モデムは極性の指定がある機種があります。「外部ベル」をご使用のお客様はTEL端子に並列接続して下さい。
- ・本装置をPBX内線/専用線などに接続した場合に、発信側が電話の呼出中に切っても、本装置に接続した電話のベルが所定の回数鳴動する可能性がありますのでご注意ください。

#### 2. 電話機に関する注意事項

- ・電話機/留守番電話など、電話着信時に応答する端末をTEL端子に接続して下さい。
- ・ホームテレホン/ビジネスホン/交換機などを接続する場合、TEL端子から各装置の回線接続端子へ接続して下さい。

#### 3. FAXに関する注意事項

- ・本装置からの配線は、FAX本体の回線接続端子（L1・L2、LINEなど）に接続して下さい。
- ・FAX本体は自動受信に設定して下さい。また、FAX本体の切替機能は解除して下さい。相手機種により正常に受信できなくなる可能性があります。
- ・FAX本体に発信機能が内蔵されていないときは、必ず発信用の電話機をFAX本体に接続して下さい。TEL端子に接続された電話機を発信用の電話機として使用する事はできません。
- ・FAX本体に電話が内蔵されたものであっても、電話着信時にこの電話機で応答できません。電話着信時の応答は、TEL端子に接続された電話機から行って下さい。
- ・ハンドセットが内蔵されていないFAX本体の場合、FAXモードを正常に運用できないことがあります。

#### 4. モデムに関する注意事項

- ・本装置からの配線は、モデム本体の「LINE端子」に接続して下さい。
- ・通常は自動着信の設定で使用して下さい。ただし、FAXモードのときは手動着信に設定を変更してから使用して下さい。

### 停電の場合

- ・停電時（本装置に電力が供給されない状態）は、TEL端子のみ使用可能です。この場合、本装置が関与しない状態（電話・FAX着信のすべてがTEL端子に接続された電話機へ着信を行う）になります。停電時でも発信・着信を正常に行うため、必ず電話機はTEL端子へ接続して下さい。

### 5. 各モードの設定

#### 自動ベルモード

##### 概要

電話とFAXを自動的に切り替えます。着信すると本装置が自動応答し、FAX信号を検知するとFAXへ転送します。FAX信号がない場合は、電話機を呼び出します。自動ベルモードには、ノーマル・ナンバーディスプレイAモード・ナンバーディスプレイBモードの3種類があります。

##### 【ノーマル】

電話とFAXを自動的に切り替えます。FAX信号を検知するとFAXへ切り替え、FAX信号が無い場合は電話機を呼び出します。

##### 【ナンバーディスプレイAモード】

ナンバーディスプレイ回線を接続した場合、電話とFAXを自動的に切り替えます。FAX信号を検知するとFAXへ切り替え、FAX信号が無い場合は電話機を呼び出します。発信者番号情報（ナンバーディスプレイ情報）はスルー（直通）状態になりますので、FAX着信時でも電話機が鳴動します。電話機が鳴動し、発信者番号情報を電話機が表示した後にFAX側の鳴動が開始されます。

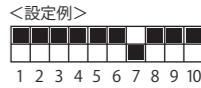
##### 【ナンバーディスプレイBモード】

ナンバーディスプレイ回線を接続した場合、電話とFAXを自動的に切り替えます。FAX信号を検知するとFAXへ切り替え、FAX信号が無い場合は電話機を呼び出します。本装置が発信者番号情報（ナンバーディスプレイ情報）をメモリして、電話着信時にその情報を再送するので、FAX着信時には電話が鳴動せずにFAXの着信ができます。接続された電話機が着信してから鳴動するまでに5秒程度の時間がかかります。※回線の状況、送信側のファクシミリによっては鳴動する場合があります。

#### 使用するためのディップスイッチ設定

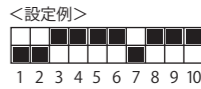
##### ノーマル

モード切替 (ディップスイッチ1) = 自動ベル (上)  
ナンバーディスプレイ (ディップスイッチ2) = 無し (上)



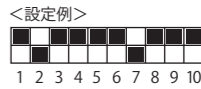
##### ナンバーディスプレイAモード

モード切替 (ディップスイッチ1) = リモート (下)  
ナンバーディスプレイ (ディップスイッチ2) = 有り (下)



##### ナンバーディスプレイBモード

モード切替 (ディップスイッチ1) = 自動ベル (上)  
ナンバーディスプレイ (ディップスイッチ2) = 有り (下)



裏面もごさいませ。

